様式第１号（第６条第１項関係）

上質宿泊施設計画

　　年　　月　　日

（宛先）京　都　市　長

申請者

住所（法人の場合は所在地）

氏名（法人の場合は名称及び代表者の氏名）

　　京都市上質宿泊施設誘致制度要綱第６条第１項の規定に基づき、本計画を提出します。

　　なお、本計画の建築物が開業に至ったときは、同要綱第１１条から第１４条に規定される上質宿泊施設開業届の提出等の各種手続を行うことに同意します。

１　上質宿泊施設計画者名及び事業所所在地

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 上質宿泊施設計画者名  （法人の場合は法人名及び代表者名） |  | | | |
| 事業所所在地 |  | | | |
| 連　絡　先 | 担当者 |  | | |
| 電　話 |  | ＦＡＸ |  |
| E-mail |  | | |

２　計画地の概要

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 立地予定地 |  | | |
| 区　　分 | 自己所有・　賃借 | 敷地面積 | ㎡ |
| 道　　路 | 公道・私道（幅員）　　ｍ | ガ　　ス | 都市ガス・プロパン |
| 上 水 道 | 有・無（　　　　　　　） | 下 水 道 | 有・無（　　　　　　　　） |
| 区域区分 | 市街化区域・市街化調整区域 | 用途地域 |  |
| 指定建ぺい率 | ／ | 指定容積率 | ／ |
| その他の地域又は地区 | □１０メートル高度地区  □美観地区（　　　　　　　　　）□建造物修景地区（　　　　　　　　　）  □自然風景保全地区（　　　　　）□眺望景観保全地域（　　　　　　　　　）  □風致地区（第３種地域　　　　）□歴史的風土保存区域  □近郊緑地保全区域　　　　　　　□宅地造成工事規制区域  □屋外広告物規制区域（　　　　　　　　　　）□屋外広告物等特別規制地区  □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | |
| 接道状況 | 幹線道路（幅員12m以上の道路を目安）から計画地に至る道路の幅員とその距離  ①幅員　　ｍ、距離　　ｍ ②幅員　　ｍ、距離　　ｍ ③幅員　　ｍ、距離　　ｍ  ④幅員　　ｍ、距離　　ｍ ⑤幅員　　ｍ、距離　　ｍ ⑥幅員　　ｍ、距離　　ｍ  敷地に接道する道路　　幅員　　ｍ　接道長さ　　　ｍ | | |
| 敷地周辺の状況 | （北側）　　　　　　　　　　　（南側）  （東側）　　　　　　　　　　　（西側） | | |

３　建設計画の概要

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工事種別 | 新築・増築・改築・用途変更・その他（　　　　　　） | | | | | | | | |
| 階　　数 | 地上　　　階　地下　　　階 | | | 構　　造 | |  | | | |
| 建築物の高さ | 約　　ｍ | | | | | | | | |
|  | 計画部分 | | 既存部分 | | | | | 合　　計 | |
| 建築面積 | 約　　　　　　　㎡ | | 約　　　　　　　㎡ | | | | | 約　　　　　　　　㎡ | |
| 延べ面積 | 約　　　　　　　㎡ | | 約　　　　　　　㎡ | | | | | 約　　　　　　　　㎡ | |
| 用途ごとの　　おおよその面積 |  | | | | | | | | |
| ホテルブランド |  | | | 室　　数 | | 室 | | | |
| 客室最低面積 | ㎡ | 客室最高面積 | | | ㎡ | | 主たる客室の面積 | | ㎡ |
| スイートルームの有無 | 有　・　無 | 客室最低単価 | | | 円 | | | | |
| 付帯設備 | □レストラン　□バー　□フィットネスルーム　□スパ　□プール　□茶室  □宴会場　□展示場　□会議室　□その他（　　　　　　　　　　　　） | | | | | | | | |
| 建築物の意匠のコンセプト |  | | | | | | | | |
| 敷地内に既存  建築物がある場合 | ［既存建築物の用途］  ［建築確認及び完了検査の取得年月日］  ［都市計画法及び建築基準法等の許認可の取得状況］ | | | | | | | | |

４　事業計画の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 運営者 |  |
| 上質宿泊施設の類型 | □ラグジュアリータイプ　　□ＭＩＣＥタイプ　　□地域資源活用タイプ  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（□オーベルジュ　□歴史的建築物） |
| 地域の魅力を活用したコンセプト | ○　地域独自の魅力（地域産品、既存建築物等）を最大限に活用した宿泊施設としての新たな魅力の創出（事業コンセプト）と顧客のターゲット層  ○　計画地で事業実施しようとする理由（既存建築物等を活用する場合はその略歴） |
| 長期事業計画 | 【事業実施予定年数　年】  ○　地域の住民、資源、産業を活用した、地域が一体となった持続的な経営環境の実現  ○　長期事業が継続可能であると考える損益計画の分析 |
| 京都経済活性化 | ○　宿泊施設の開業及び運営における京都経済への寄与 |
| 地域・周辺との  調和 | ○　工事の騒音や粉塵、開業後の交通対策など地域住民の生活環境への配慮  【工事における配慮】  【営業における配慮】  【建築物における配慮】 |
| 地域課題への  貢献 | ○　地域課題等に対応する当該地域の活性化に向けた取組 |
| サービスの内容 | ○　コンシェルジュの配置や高度なパーソナルサービスによる上質な宿泊体験の提供  ＜和の文化、伝統文化の利用予定＞   |  |  | | --- | --- | | 名称 | 利用方法 | |  |  | |  |  | |  |  | |  |  | |
| 市内産品  サービスの利用 | ○　市内事業者の提供する産品・サービスの活用  ＜市内産食材、市場流通食材の利用予定＞   |  |  | | --- | --- | | 食材名称・取引事業者名 | 利用方法・利用箇所 | |  |  | |  |  | |  |  | |  |  |   ＜雇用の創出・安定化＞   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 雇用者となる事業者名 | 雇用人数  （正規） | 雇用人数  （非正規） | |  | 名 | 名 | |  | 名 | 名 | |  | 名 | 名 |   ＜木質ペレットの利用予定＞   |  |  | | --- | --- | | 利用方法・利用箇所 | 利用量 | |  |  | |  |  |   ＜市内産木材・竹の利用予定＞   |  |  | | --- | --- | | 部材名・利用方法 | 利用量 | |  |  | |  |  |   ＜伝統産業製品の利用予定＞  （建築物）   |  |  | | --- | --- | | 名称 | 利用方法・利用箇所 | |  |  | |  |  | |  |  |   （非建築物）  （建築物）   |  |  | | --- | --- | | 名称 | 利用方法・利用箇所 | |  |  | |  |  | |  |  |   ＜市内事業者が提供する産品の利用予定＞   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 事業者名 | 産品名称 | 利用方法・利用箇所 | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  |   ＜市内事業者が提供するサービスの利用予定＞   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 事業者名 | サービス名称 | 利用方法・利用箇所 | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  | |  |  |  | |
| その他市の方針や施策に  合致した取組 | ○　防災に関する取組  ○　バリアフリー、福祉に関する取組  ○　自然・再生可能エネルギーの利用や省エネの取組  ○　その他の市の方針や施策に合致した取組 |
| 当該地における開業理由  市街化調整区域における地域資源活用タイプ | □　農林水産物や農地など地域資源の活用により、地域の農林水産業の生産活動を活性化し、地域の農林水産業の振興に寄与することが見込まれ、周囲との調和が図られる施設  □　農林水産業の担い手の確保・定着につながること。  　□　地元一次産品の優先的な利活用が見込め、販売額等の増加につながること。  □　地域の農林水産業における遊休地・遊休施設等の活用につながること。  　（具体的な活用計画：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  　□　農林水産業を通じた都市住民との交流につながること。  □　地域住民の雇用促進につながること。  □　歴史・文化資源、自然景観など地域の観光資源の活用により、地域の活性化に寄与することが見込まれ、周囲との調和が図られる施設  □　地域観光資源の魅力を広く発信できること。  　□　地域観光資源の発掘や磨き上げにつながること。  　□　地域住民の雇用促進につながること。 |
| 本事業における重要業績評価　指標（KPI） | ○　地域経済活性化（市内産品の活用比率や金額等）    ○　客室稼働率 |
| 事業実施  スケジュール | 土地造成等開始　　　　年　　月  土地造成等完了　　　　年　　月  建　築　開　始　　　　年　　月  建　築　完　了　　　　年　　月  開　　　業　　　　　年　　月 |

　　※　下記資料を添付してください。また、必要に応じて上記計画内容を補足する資料を添付してください。

　　 ・　予定地の位置図（近隣の状況等が分かるもの）、字図、登記事項証明書（登記簿謄本）

　　　・　現地写真（予定地とその周囲の状況が分かるもの）

　　　・　建築物のイメージ図、構想等

　　　・　建築物の平面図、立面図、断面図

　　　・　長期事業損益計画書

　　　・　事業費概算書

　　　・　事業資金調達計画書